

勿凝学問 252

医師が選択した年金が、医療、介護に与える影響
医療を主戦場とした年金論議だったんだけどね

2009年10月8日
慶應義塾大学商学部
教授 権丈善一

ご隠居生活を安穏と愉しんでいると…

いつもお世話になっております。

全国情報サービス産業厚生年金基金様の『JJK』秋号が
動き出しますので、また先生ご執筆いただきたくメールさせていただきます。

……

納期ですが、9月25日くらいにいただければ幸いです。

お忙しいとは思いますが、なにとぞ宜しくお願いいたします。

返事を出さないでいると

いつもお世話になっております。

本日いただける予定となっておりますコラムの、
執筆の進捗状況はいかがでしょう。

お忙しい中申し訳ありませんが、

なにとぞよろしく願いいたします。

返事を出さないでいると

いつもお世話になっております。

……

締切を一週間以上過ぎました。

原稿の進捗状況はいかがでしょう。

お忙しい中申し訳ありませんが、

なにとぞよろしく願いいたします。

分かった分かった(T_T)トホッ——よくぞ催促してくれた！

別に忙しいわけじゃあないんですけどね。。

年金の仕事ねえ、まあ、まったくやる気がしないんだけど、仕方がないので、ちょっと書いてみたら、文字数が1.5倍ほどになったので、今回も資料なんかをくっつけて勿凝学問にへん～身っ！ 医師の6割以上が、基礎年金の税方式化を公約とした政党に投票したよ

うなので、題して、「医師が選択した年金が、医療、介護に与える影響」

2007年末から2008年半ばにかけて基礎年金の税方式化論議が盛り上がっていたさなか、わたくしは、「僕がやっていることは、日露戦争の時の明石元二郎^{もとじろう}の仕事のようなもんだな」と話していた。明石元二郎は日露戦争時、「ロシアの後方を攪乱せよ」との命を児玉源太郎から受け、日露戦争の主戦場での勝算を高めるために、当時のペテルブルグを中心にロシア国内での厭戦気分を高める秘密工作を行っていた。

2007年、年金記録問題が勃発する。これを奇貨とした財界、高所得労働者からなる労働貴族界、新自由主義的な経済学者たち（実は、現行の制度をよく理解していない人たち）は、かねてより主張していた税方式化を押し進める運動を活発化させた。時、医療崩壊が強く意識されてきた頃でもあった。主戦場を医療崩壊の阻止、医療、介護の再建に定めていたわたくしは、（ここは明石元二郎と異なり誰に命じられることもなく）医療、介護問題の後方にある年金問題で、税方式論議の盛り上がり沈静化させる仕事をやっていたのである。

なぜ、医療、介護を再建するために、年金制度を抜本改革するという年金論議を沈静化させる必要があったのか。そもそも破綻もしておらず、医療、介護政策と比べればうまく運営されている年金を抜本改革する必要などさらさらしない上に、もし年金に税を使われてしまうと、医療や介護に回らなくなるからである。2008年のはじめ、社会保障国民会議のメンバーになったわたくしは、「[基礎年金租税財源化に関する定量的なシミュレーションの必要性](#)」という資料を提出する。

○ シミュレーションの視点

次の2つの視点にたつて、基礎年金の財源を100%租税に移行した場合における定量的なシミュレーションを行う。

1. 現行の基礎年金租税財源2分の1から2分の2（全額税財源方式）に移行する場合の移行措置のシミュレーション
2. 租税財源2分の2への移行にあたっての医療や介護、その他の社会保障給付も踏まえた財政規模のシミュレーション

詳細な結果は、「公的年金制度に関する定量的なシミュレーション結果」

(<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/syakaihosyoukokuminkaigi/simulation.html>) にバックデータと共に公開されているので参照してもらいたい。要約すれば、過去の拠出履歴をどのように処するかによって必要財源に差がでるが、2025年時で税方式を前提とする場合は社会保険方式を前提とする場合よりも消費税換算で3%から7%の追加財源が必要になるというものであった。

現行の社会保険方式を前提とするのであれば、2017年に18.3%に保険料率が到達するまで毎年0.354ポイントずつ保険料率が自動的に上がる措置が2004年改革時に採られているので、年金では財源調達という大変な努力を要する作業を行わなくともよい。しかしなが

ら、税方式に転換して、せつかく出来上がっている仕組みをいったん捨ててしまうと、税方式年金のための税財源の調達にエネルギーを傾注する必要がある。その上さらに、税財源を待望する医療、介護のためにも、財源調達の努力を行わなければならない。しかしそこでは、年金への税財源の投入が優先される。それでは、医療、介護、さらに保育、教育などの機能強化は夢の又夢……。

そうした問題意識をもって、経済界や恵まれた労働者のエゴ丸出しで仕掛けられてくる全く無意味な年金論議を鎮める活動をしていたのが、2007年、2008年であった。しかし、今やマニフェストが黄門様の印籠と化した時世の下で、医師の6割以上が、税方式をマニフェストに書いた政党を選択した。彼ら医師が、年金の税方式化がマニフェストに書かれていたことを意識していようがまいが、後の祭りである——なお、私は、^{おおやけ}公の政党に国民との約束を違えることを薦める趣味は落ち合わせていない。

明石元二郎の秘密工作は、小説の世界とは異なり、結局のところあまり効果がなかったのではないかというのが、最近の歴史検証の示すところである。もしそうであるならば、明石元二郎と同じ福岡出身のわたくしは、彼に一步近づくことができたのではないかとも思え、まんざら悪い気がしないわけでもない（笑）。

そして、

Subject: 教えていただけますでしょうか

いつもお世話になっております。

原稿をお送りいただき、ありがとうございました。

ところで、いただいた原稿では、権丈先生は

「民主党が税方式の導入を決定するのは、ほぼ間違いないところである」

と受け止められているようにも見受けられますが、

実際のところ、税方式が導入される可能性について、

どのようにお考えなのでしょうか。

クライアントから、こうした質問がありましたので、

失礼かとも思いましたが質問させていただく次第です。

教えてあげないよ(͡° ͜°)ボソ...

社会保障の機能強化のための追加所要額(試算)
(社会保障国民会議及び「子どもと家族を応援する日本」重点戦略に基づく整理)

※下記の追加所要額に加え、基礎年金に係る国庫負担割合の2分の1への引上げ分(消費税率換算1%程度(2009年度で23兆円))が必要となる。

	改革の方向性 (新たな施策)	2025年度	
		必要額 (公費ベース)	消費税率換算
基礎年金	○税方式を前提とする場合	約15~31兆円	3 1/2~8%程度
	○社会保障方式を前提とする場合 低年金・無年金者対策の強化 ・最低保障機能の強化 ・基礎年金額の改善 ・安給種補償に係る措置の強化 (免除の活用、厚生年金適用拡大、強制徴収) 等	約2.9兆円	1%弱
医療・介護	医療・介護の充実強化と効率化を同時に実施 (急性期医療の充実強化、重点化、在院日数の短縮化 (スタッフの充実等) 機能分化・機能連携による早期社会復帰等の実現 (地域包括ケア、訪問介護・訪問看護・訪問診療の充実等) 在宅医療・介護の場の整備とサービスの充実 (グループホーム、小規模多機能サービスの充実等) 等	約14兆円	4%弱
少子化対策	親の就労と子どもの育成の両立を支える支援 (3歳未満児の保育サービスの利用率 20%→38~44%) (学齢期(小1~3年生)の放課後児童クラブ利用率 19%→60%) (出産前後に希望どおりに継続就業でき、育児休業を取得 (第1子出産前後の継続就業率38%→55%)) すべての子どもの確やかな育成の基盤となる地域の取組 (望ましい受診回数(14回)を確保するための妊婦健診の支援の充実) 等	約1.6~2.5兆円	0.4~0.6%程度
合計	○税方式を前提とする場合	約31~48兆円	8~12%程度
	○社会保障方式を前提とする場合	約19~20兆円	5%程度
社会保障の機能強化に加え 基礎年金の国庫負担割合 引上げ分を加味	○税方式を前提とする場合		9~13%程度
	○社会保障方式を前提とする場合		6%程度

(注1)「社会保障国民会議における検討に資するために行う公的年金制度に関する定量的なシミュレーション」、「社会保障国民会議における検討に資するために行う医療・介護費用のシミュレーション(B2シナリオ)」等に基づく。経済前提は「ケースⅡ-1(医療の伸びはケース①)」を用いた。
(注2)少子化対策に係る追加費用については、「子どもと家族を応援する日本」重点戦略において示した次世代育成支援の社会的コストの推計を基に、現行の関連する制度の公費負担割合を当てはめて算出した。なお、ここには児童手当等の経済的支援の拡充に要する費用は計上していない。

参考 2009年7月26日「社説 [増税が景気浮揚の逆説](#)」『東京新聞』

『JJK(全国情報サービス産業厚生年金基金のコミュニケートマガジン)』掲載の過去のコラム

- ✓ 「[年金を政治から守るために知っておきたい公的年金の再分配構造](#)」『JJK』2009 Summer No. 109.
- ✓ 「[年金不信と年金報道との関係](#)」『JJK』2009 Spring No. 109.
- ✓ 「[基礎年金の財政方式、詰んでいるのに両論併記になっている理由](#)」2009 Winter No. 7
- ✓ 「[老後不安緩和への正しい努力の仕方](#)」『JJK』2008 Autumn No. 106
- ✓ 「[年金加入期間25年を短くすると、未納者は減り低年金者は減少するのだろうか?](#)」『JJK』2008 Summer No. 105.
- ✓ 「[「防貧機能」をはたす社会保険としての国民年金](#)」『JJK』2008 Spring No. 104.